

I 富士見町立本郷小学校のあゆみ

- 明治 5年 「学制」 發布。学校開設の世話役に、三井信三郎氏があたる。
- 明治 6年 乙事薬師堂開校（7月15日）。9月に法隆寺（現区役所内）に移転。「至焉学校」と命名。
立沢は、高栄寺を借用して「興讓学校」をおく。
- 明治 8年 乙事村と立沢村が合併。本郷村と改称。
- 明治 9年 乙事学校と改称。法隆寺に校舎を増築。
- 明治 11年 立沢学校は、「第十九番中学区第三十七小学立沢学校」となる。
- 明治 14年 「小学校教則綱領」 制定。初等科・中等科・高等科に区分され、初等科三年が義務教育となる。
- 明治 16年 本郷村が分村。立沢村と乙事村になる。
- 明治 19年 「小学校令」 公布。「第八番学区 乙事学校」となり、立沢・高森・城の崎（先達）の三校は、乙事学校の支校となる。
尋常小学校四年が、義務教育となる。
- 明治 21年 諏訪郡高等小学校落合分校開設。本郷・落合・境・富士見地区の高等科生が通学する。
- 明治 22年 一村一校制になり、乙事学校から境地区が分離し、独立校になる。
乙事学校は、乙事尋常小学校となり、立沢に支校をおく。
- 明治 25年 本郷尋常小学校が、乙事尋常小学校・立沢尋常小学校の二校に分離。（4月15日）。
- 明治 28年 乙事尋常小学校（現公民館の地）新設。
立沢尋常小学校（現農協倉庫の地）新設。
- 明治 34年 高等科（修業年限4年）の併設が認可。
立沢・乙事両校とも尋常高等小学校となる。
- 明治 39年 女子補習学校（5ケ年）開設（12月）。
- 明治 41年 小学校令施行。尋常科6ケ年・高等科2ケ年となり、尋常科が義務教育に。
- 大正 4年 校長 三輪重一（乙事部）～8年
- 大正 9年 校長 小林善一郎（乙事部）～10年
- 大正 11年 校長 五味喜実平（乙事部）
- 大正 12年 立沢、乙事両校が統合。本郷尋常高等小学校と改称。当分の間、両校校舎を仮教場として発足。
校長 塚田廣路～昭和元年
- 昭和 2年 御別当（現在地）に新校舎竣工（10月20日）。新校舎で授業開始。

位置 海拔1080M 北緯35度55分 東経138度16分

- 昭和 5年 校長 塩入久雄 ～4年
- 昭和 10年 校長 小坂半助 ～10年
本郷青年学校併設。
校長 小池松太 ～14年
- 昭和 15年 校長 宮下息長 ～19年
- 昭和 16年 本郷国民学校と改称。初等科・高等科となる。
- 昭和 20年 校長 松下 廉
- 昭和 21年 校長 両角均一 ～23年
- 昭和 22年 新学制（6・3制）施行。本郷中学校併設。
本郷国民学校を本郷小学校と改称。
- 昭和 23年 青年学校廃校。
- 昭和 24年 校長 守矢千巻 ～26年
- 昭和 27年 校長 伊藤源一郎～29年
- 昭和 28年 本郷村、落合村、富士見村による組合立富士見高原中学校新設。
本郷小学校独立。
- 昭和 30年 本郷村・境村・落合村・富士見村の四ヶ村合併。富士見町となるに伴い、瀬沢新田（落合地籍）本郷小学校区に。
校長 大久保忠雄～33年
- 昭和 31年 給食室新設。
- 昭和 34年 台風15号により、立沢区に犠牲者が出る。学校の屋根も被害。
校長 金原安雄 ～39年
- 昭和 40年 校歌「勝 承夫作詞、平井康三郎作曲」。校章を制定。
校長 牛尼好藏 ～42年
- 昭和 43年 「第2回長野県よい歯学校表彰」受賞
校長 小林 武 ～45年
- 昭和 44年 本郷スケート部発足
- 昭和 46年 校長 古原源之助～49年
- 昭和 48年 御別当地籍構造改善工事に伴い校庭拡張。

- 昭和49年 軽井沢スケート大会 男子総合優勝
- 昭和50年 校長 菊地丕美 ～53年
- 昭和51年 通学区に桜ヶ丘が新設。立沢・乙事・新田・桜ヶ丘の4通学区。
- 昭和52年 本郷子ども会「第26回中部日本優良子ども会」表彰。
本郷PTA長野県安全協会より、交通安全への協力で表彰。
- 昭和54年 本郷子ども会「全国子ども会連合会」表彰。
長野県同和教育指定校研究発表
校長 小林嘉守 ～56年
- 昭和55年 新校舎・管理棟完成。
- 昭和56年 二期工事（多目的ホール、体育館、厨房）完成。
多目的ホールでの全校一斉給食開始。
- 昭和57年 農協共済書道コンクールにて学校賞受賞。
校庭水漏工事。
校長 翠川武仁 ～59年
- 昭和58年 本郷子ども会「公衆衛生優良団体」として表彰。
- 昭和59年 中庭に築山「みどりの広場」と命名。
パソコン2台。鮎沢医師寄贈。
- 昭和60年 体育用一輪車50台。鮎沢医師寄贈。
校長 坂本辰美 ～63年
- 昭和61年 校舎増築工事着工。
- 昭和62年 パソコン11台。鮎沢医師寄贈。
- 昭和63年 理科観察池完成。
- 平成 元年 せせらぎ園完成。
山間地・僻地・小規模校研究大会
校長 高橋昭二 ～3年
- 平成 2年 教育課程研究協議会（理科）。
同窓会記念式典
3年生「おかいこさんの成長の合図」研究で、県学生科学県会議会賞受賞。
同才能開発コンテスト全国連合小学校長会会長受賞。
- 平成 3年 ソニー教育資金優良校。
NHK合唱コンクール初参加。銀賞受賞。
県青少年健全育成「ひまわりっ子ファミリー事業校」指定。各種行事。
- 平成 4年 本郷子ども会「環境長官賞」受賞（立場川清掃・通学路清掃にたいして）。
JA共済小中学校書道コンクールで好成績。長野県共済農業共同組合学校賞受賞。
校長 岩崎宏章 ～5年
- 平成 5年 教育課程協議会（音楽科）会場校。
ソニー教育資金応募。協力校となる。
- 平成 6年 差別解消をめざす作文・ポスターコンクール学校賞受賞。
音楽集会、体育集会を児童・職員一体で創り上げる。
校長 市川洋安 ～8年
- 平成 7年 立場川清掃等、緑豊かな地域社会への貢献が認められ「内閣総理大臣賞」受賞。
青少年社会参加活動推進指定校。
教育課程研究協議会（国語）会場校。音読学習により、児童の表現力向上。
- 平成 8年 下水道完成。プール改修工事。子ども郵便貯金表彰。
- 平成 9年 校長 小口壮介 ～11年
創立70周年記念講演会、音楽会、式典、祝賀会、創立70周年記念誌発行
LCV校内配線工事（同窓会寄付）給食室改修工事
1・15過去に例を見ない大雪が降る。積雪量120センチ以上。
- 平成10年 教育課程研究協議会（社会科）会場校。地域教材を生かした学習により児童の追究力の向上。
給食室配膳棚改修。音楽室・各教室照明増設工事。塔時計修理。
- 平成11年 パソコン教室設置及び理科準備室建設。
校舎軒天等の改修。プール更衣室新築。子ども郵便貯金表彰。
雨漏り防止工事。書道優秀学校賞。焼却炉撤去工事。
- 平成12年 校長 清水伴正 ～15年
雨漏り防止工事。校庭出入口舗装。旧滑り台撤去。自噴地下水をせせらぎ園に引く。
食堂ホール照明増設。「人権の花」表彰。書道優秀学校賞。
職員玄関照明配線工事。
- 平成13年 「立場川を美しくする会」日本善行会より全国表彰。灯油地下タンク漏水工事。
教育課程研究協議会（家庭科）会場校。ロータリー整備工事。
諏訪PTA連合会指導者研修会開催校。学習研究連盟夏季研修「富士見集会」を開催。
書道学校優秀賞。

- 平成14年 オイルポンプ取り替え工事。一階廊下塗装工事。保健室有線設置工事。体育館・給食棟排水ヒーター設置。自動火災報知器設備主音響装置ベル取り替え。普通教室照明増設工事。ブランコ修理。学習研究連盟冬季研修「富士見集会」開催。町人権教育研修会場校。受水槽配水管工事。文部科学省「豊かな体験活動推進事業」実施地域指定（富士見町）を受け、稗の底跡地に関わって学習を深める。（1年目）
- 平成15年 文部科学省「豊かな体験活動推進事業」実施地域指定（富士見町）を受け、稗の底跡地に関わって学習を深める。（2年目） 学校評議員を5名委嘱し、学校の外部評価を実施。 外部より教育専門の講師を招いての学習指導研究会実施。 少人数特別加配：5年・4年の算数・国語。1年の介助員。スケート小屋横の柳伐採。児童玄関・職員玄関戸取り替え。体育館軒天井改修。
- 平成16年 校長 市川文夫 ～18年
教育課程研究協議会（図工科）会場校。文部科学省「豊かな体験活動推進事業」実施地域指定（富士見町）を受け、稗の底跡地に関わって学習を深める。（3年目）学習研究連盟冬季研修「富士見集会」開催。パソコン室、パソコン入れ替え。体育館屋根塗装。雨漏り修理。二階・三階廊下塗装工事。滑り台交換。鉄棒・ブランコ修理。映画「いま、会いに行きます」ロケ、エキストラ参加。
- 平成17年 第37回長野県視覚・放送研究会諏訪大会会場（理科・体育・特別活動）公開授業。諏訪学校長会会場、全学級・音楽集会公開。プール塗装、濾過器改修工事。校庭遊具設置（肋木・吊り輪）。登り棒改修。校庭フェンス車止め設置。給食室倉庫改修。
- 平成18年 教室棟・体育館耐震工事。教室棟屋根塗装。全学級公開授業。大雨による通学路土砂流出。臨時休業。「人権の花」表彰。 少人数特別加配：3年・6年の算数・国語。全学級保護者授業実施。
- 平成19年 校長 上野博子 ～21年
教育課程研究協議会（特別活動）会場校。全学級公開授業。職員室床基礎工事。ブロンズ像基礎工事。西岳登山復活（5・6年） 「立場川を美しくする会」釜無川漁業協同組合より表彰。
- 平成20年 特別支援学級開設。多目的ホール軒天井工事。校地内水道管布設替工事。職員玄関「さすまた」設置。給食室配膳棚鍵設置。多目的ホール屋根塗装工事。放送室機械新しくなる。全学級公開授業。全校オペレッタ「稗の底」発表。 少人数特別加配：5年の算数・国語。6年の介助員。1年学習習慣形成。
- 平成21年 立沢大橋を通学路として使用を開始。プール消毒槽塗装工事、シャワー取付工事実施。新型インフルエンザ流行のため、西岳登山中止。台風18号通過の為、10月8日臨時休校。新型インフルエンザ感染者増加により、時期を異なり1, 3, 6年学年閉鎖。灯油送油管補修工事。釜無川漁業協同組合より、立場川清掃への取り組みに感謝状贈呈。 校長室、職員室、多目的ホールに地上デジタル放送対応テレビ設置。緊急地震速報接続工事完了。「学習指導研究会」開催。
- 平成22年 校長 花岡 澄（～24年）
教育課程研究協議会（算数科）会場校。 プール機械集毛器塗装工事・補修工事、家庭科室ガス安全弁設置工事実施 給食室横舗装工事、理科室床補修工事実施。 インフルエンザ流行のため、スキー教室中止。インフルエンザ感染者増加により、時期を異なり1, 2, 3, 5年学年閉鎖。西階段1階天井補修工事、2階流し壁補修工事、3階時計周辺壁補修工事実施。パソコン機器搬入される。
- 平成23年 大時計周辺タイル改修工事・体育館水銀灯取替工事実施。児童クラブ室新築工事実施。放射線空間測定実施。PTA 役員による藤棚改修実施。プール眼洗い周辺工事 給油配管修繕工事。台風15号接近に伴い、下校時刻を繰り上げ、4時間給食下校。
- 平成24年 教育課程研究協議会（生活科）会場校。富士見町人権教育研修会会場校。全学級公開。 レシピ方式の外国語活動開始。5, 6年年間35時間, 1～4年年間17時間実施。 編笠山登山再開。体育館南側軒天工事・給食棟雨漏り対策工事実施。2F東側水道・職員室北側雨樋凍結防止対策実施。アルミ缶回収39年間の取り組みが評価され、優秀賞受賞。三光寺さん寄贈のグランドピアノが落合小より移管され、感謝の会を実施。
- 平成25年 校長 今井 定雄 ～27年
体育館北側軒天工事実施。照明防災機能強化工事。3F東西水道凍結防止対策実施。非常時自家発電機設置。初の引き渡し訓練実施。学校開放講座「西村豊先生のナイター自然観察教室」開講。台風26号の影響で、児童登校を10時とする。インフルエンザ流行のため5月1年, 2月4年で学年閉鎖。2月14, 15日大雪。積雪140cm。県道を含め通行不可となる。通学の安全が確保できず2日間臨時休業。再開後は特別日課と

- し、スクールバス利用や保護者の送迎で登下校対応。
- 平成26年 教育課程研究協議会（外国語活動）会場校。Glen Waverley South Primary School（オーストラリア）とスカイプ交流を開始する。児童クラブに外トイレを設置。多目的ホールの天井を全面改装。編笠山登山（5・6年生）2日後に延期後登頂。インフルエンザ流行のため5月1年2組と3年、2月1年2組と4年で学級・学年閉鎖。台風19号の影響で10月14日の登校を10時、お弁当持参とした。10月高学年の部、低学年の部に分けて駅伝大会開始。5年生の稲作をNBSが年間通して取材し放映。体育館南ギャラリー大窓可金網入りガラス11枚取替。
- 平成27年 文化庁文化芸術による子どもの育成事業開催11/5、新潮劇院の京劇「孫悟空、天界で大暴れ」本公演で3年生が出演。インフルエンザA・B流行のため1月3年学年閉鎖、2月2学年閉鎖。トイレ洋式化3箇所改修（2階女子トイレ2箇所、男子1箇所）及び職員女子トイレのバリアフリー（スロープ、扉の取替）1箇所。体育館バスケットゴール大2箇所新しいゴールに入替。校舎周辺軒天修理及び塗装工事。防災のためホールに非常用電話線設置。
- 平成28年 校長 矢島 俊樹
文化庁文化芸術による子供の育成事業開催6/27、「デフ・パペットシアター・ひとみ」による人形劇（児童劇）『はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール♪』を公演。諏訪地区教育課程研究協議会（総合的な学習の時間「お米作り」）会場校。編笠山登山8/24（5・6年生）。体育館・教室棟1・2階トイレ全面改修（10～12月）。防災のためホールに非常用電話受話器設置（3月）。
- 平成29年 校長 矢島 俊樹
文部科学省人権教育研究推進指定校事業を受託。研究の柱に人権教育とインクルーシブ教育を据え初年度の研究を推進。胃腸炎罹患患者増加のため4年学年閉鎖および3、4年生のみ授業参観を延期（4月）。インフルエンザ感染者増加のため、4、5、6年学年閉鎖（1～2月）西岳登山8/25（5・6年生）。ICT環境更新工事実施。普通教室などに据置型のプロジェクター及びスクリーンを設置。校務用パソコンも入れ替え。
- 平成30年 校長 矢島 俊樹
文部科学省人権教育研究推進指定校事業2年間のまとめとして、公開研究会を実施。人権教育とインクルーシブ教育の研究を踏まえ、授業づくりの基本として「本郷スタンダード」を設定。インフルエンザ流行のため、1年1組学級閉鎖、2、3、6年学年閉鎖（12月～1月）編笠山登山（今年度から6年生のみで実施）台風20号の接近による停電のため休校措置（9月5日）
- 平成31（令和元）年 校長 矢島 俊樹
保健室に1台、給食室に4台のエアコン設置工事を実施。特別支援学級用にタブレット端末を7台導入。大雨による増水のため立場川を美しくする会を中止した。インフルエンザ流行のため、5年2組学級閉鎖、1、3年学年閉鎖（12月～1月）新型コロナウイルス感染症対策として臨時休校（3月2日～16日）。終業式、離任式、卒業式について、規模を縮小して実施。
- 令和2年 校長 井口 博司
新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため4月13日から5月31日まで臨時休校。5年西伊豆町との交流、6年編笠山登山、立場川を美しくする会などの行事や、集会活動などは中止。入学式、卒業式は、規模を縮小して実施し、運動会、音楽会は、それぞれ学習発表会として実施。授業参観は、複数日開催とし、参観人数を制限して分散参観とした。GIGAスクール構想の前倒し措置により、1人1台端末を配備。
- 令和3年 校長 井口 博司
新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため2月7日と8日を臨時休校。2月24日から28日まで4年2組学級閉鎖。5・6年西伊豆町との交流、6年編笠山登山、1・2年スケート教室、スキー教室、3・4年スキー教室は中止。入学式、卒業式は、規模を縮小して実施し、運動会、音楽会は、それぞれ学習発表会として実施。授業参観は、複数日開催とし、参観人数を制限して分散参観とした。立場川を美しくする会は予備日も含め、増水のため中止。スケートリンクは温暖化が続いているため、中止。諏訪地区教育課程研究協議会（道徳）会場校。オンラインで実施。

- 令和 4年 校長 井口 博司
 新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため5年1組と5年2組学級閉鎖。入学式、卒業式は、規模を縮小して実施。6月に運動会、10月に音楽会を、それぞれ学習発表会として分散で実施。5・6年で西伊豆旅行を実施。立場川を美しくする会は予備日も含め、増水のため中止。6年編笠山登山は、天候不順で中止。文化芸術による子供育成推進事業ユニバーサル公演事業開催2/14 「デフ・パペットシアター・ひとみ」による人形劇(児童劇)『河の河童』を公演。
- 令和 5年 校長 神津 茂
 「立場川を美しくする会」の活動が長野県河川協会から河川関係功労者表彰を受賞7/31。インフルエンザによる学級閉鎖のため1年1組は音楽会に不参加。後日、発表の場を設ける。1年1組は感染症に伴う学級閉鎖のため、スケート教室を後日実施。2年1組が感染症に伴う学級閉鎖。4年1組がインフルエンザによる学級閉鎖。6月の運動会は連学年ごとの分散で午前中開催。音楽会は、人数制限を2名とし、全校で午前中に実施。前日のリハーサルを公開とした。6年生の登山は西岳となった。立場川を美しくする会を5年ぶりに実施。4年生がアスリート派遣事業で、バレーボール選手の大山未希さんにバレーを指導してもらった。なかよし月間で馬島誠さんの講演会を実施。校務用パソコン入れ替え。校務支援システム導入。各教室にデジタルテレビ9台、大型デジタルテレビ3台寄贈。デジタルカメラ2台寄贈。
- 令和 6年 校長 神津 茂
 6月の運動会は全校で午前中開催。各教室、音楽室、理科室、家庭科室、図書館、英語教室、PC室、校長室、相談室、職員室、ホール、給食休憩室にエアコン設置。6年生登山は天候不順のため延期になったが西岳に登頂。教育課程研究協議会「特別支援教育」の会場校となり、3年生と4年生の授業を公開。音楽会は参観者の人数制限を設けなかったが、椅子の利用は各家庭2名までとした。PTAと共催でつばめプロジェクトの有坂栄康先生の講演会を実施。6年生がアントレプレナーシップ講演会で株式会社クラウドワークス 代表取締役社長兼 CEO 吉田 浩一郎様の話をオンラインで聴講した。2年1組は感染症に伴う学級閉鎖あけ直後のため、スケート教室を後日実施。
- 令和 7年 校長 神津 茂
 全校児童177名。9学級(内特支2)。登校日数203日。
 学校行事における感染症対策による入場制限はなくなり、以前のかたちに戻る。
 科等横断的な学習の充実のための「わくわくタイム」の設置(毎週水曜日)
 夏日課、冬日課(11月~1月末)の設置により、指導時数の見直しと冬季における下校時の安全確保に努める。
 町一斉の下校時避難訓練、登校時避難訓練、学校休業日における安否確認テスト実施。
 熊、サルの出没により集団下校、地域による送迎を実施。
 運動会は雨のため順延し翌日に開催。
 一人一台端末の有効利用と保護者からの学教徴収金の負担軽減をめざし、ドリル教材、休み帳を購入せずに端末を活用した課題を用意。
 11月から2月にかけてインフルエンザによる学年・学級閉鎖が相次ぐ。該当学級は端末を持ち帰り朝の会や授業を遠隔で実施。
 子どもチャレンジ事業[町]による6年生の起業家教育[アントレプレナーシップ教育]開始。
 PTAとの共催での講演会は11月の参観日に子どもとメディアの付き合い方をテーマに長野県こころの医療センター駒ヶ根より2名の講師を招いて実施。
 学習ボランティア来校者数延べ294名。